乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)の事業開始に向けた取り組みについて

令和6年6月の子ども・子育て支援法等の一部改正により、新たな給付制度として乳児等通園支援事業(通称「こども誰でも通園制度」)が創設されました。事業開始となる令和8年4月に向け、例規・制度の整備、事業者の選定及び認可手続き等の準備を進めてまいります。

1 乳児等通園支援事業の概要

全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な生育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を強化するため、就労要件を問わず時間単位等で柔軟に保育所等を利用できる事業(第3期子ども・子育て支援事業計画に織り込まれています)

2 事業の主な仕組み

対象児童	0歳6か月～満3歳未満で保育所等に通っていないこども
実施場所	保育所、認定こども園、認可外保育施設等 ※本事業についての市の認可が必要
対象者の認定	居住する市町村による認定 ※利用者からの申請が必要
利用時間	利用可能枠(10時間/月)の中で、時間単位等で柔軟に利用
利用方法	定期利用及び自由利用、事業所との直接契約 ※利用にあたっては、国の整備する予約システムを活用する
保護者負担	こども1人につき1時間300円程度(事業所が徴収)
財源	子ども子育て支援法に基づく通園給付 【こども一人1時間あたり単価】 0歳児1,300円、1歳児1,100円、2歳児900円、障害児加算400円 要支援家庭のこども加算400円、医療的ケア児2,400円
量の見込み	31人程度/月

3 事業化に向けたスケジュール

令和7年	6月	文教厚生委員会報告(事業の概要・スケジュール)
	8月頃	児童福祉専門分科会
	9月	文教厚生委員会報告(認可条例について) 認可条例の制定に係るパブリックコメント募集
	10月	事業者募集
	11月	児童福祉専門分科会
	12月	認可条例制定案の提出、確認条例について報告
令和8年	1月～2月	児童福祉専門分科会及び認可部会
	3月	確認条例改正案の提出、利用者申込み受付開始
	4月	事業者認可・事業運営開始